

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】令和2年11月26日(2020.11.26)

【公表番号】特表2019-532006(P2019-532006A)

【公表日】令和1年11月7日(2019.11.7)

【年通号数】公開・登録公報2019-045

【出願番号】特願2019-520633(P2019-520633)

【国際特許分類】

C 0 1 F 11/46 (2006.01)

A 6 1 P 13/08 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/167 (2006.01)

【F I】

C 0 1 F 11/46 D

A 6 1 P 13/08

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 47/02

A 6 1 K 31/167

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月14日(2020.10.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

硫酸カルシウム半水和物粉末を産生する方法であって、以下の：

a) 密閉されたキャビネット内で、制御された温度、前記キャビネット内の空気循環、及び前記キャビネットからの調節可能な排出空気流を用いて、硫酸カルシウム二水和物を処理すること；

b) 前記温度を100℃以上に調節すること；

c) 1～12時間の行程所要時間を許容すること；及び

d) 前記キャビネットからの湿度を含む排出空気流量を、0.2～2L/sに調節すること、の段階を含む方法。

【請求項2】

段階bにおける前記温度が、150～220℃である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

段階bにおける前記温度が、180～210℃である、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

段階bにおける前記温度が、185～205℃である、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

段階bにおける前記温度が、190～203℃である、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

段階bにおける前記温度が、約200℃である、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

段階cにおける前記時間が、2～8時間である、請求項1に記載の方法。

【請求項 8】

段階cにおける前記時間が、3～5時間である、請求項1に記載の方法。

【請求項 9】

段階cにおける前記時間が、3.5～4.5時間である、請求項1に記載の方法。

【請求項 10】

段階cにおける前記時間が、約4時間である、請求項1に記載の方法。

【請求項 11】

段階dにおける前記排気が、0.2～1.5L/sである、請求項1に記載の方法。

【請求項 12】

段階dにおける前記排気が、0.25～1L/sである、請求項1に記載の方法。

【請求項 13】

段階dにおける前記排気が、0.25～0.8L/sである、請求項1に記載の方法。

【請求項 14】

段階dにおける前記排気が、0.3～0.7L/sである、請求項1に記載の方法。

【請求項 15】

段階dにおける前記排気が、0.4～0.6L/sである、請求項1に記載の方法。

【請求項 16】

段階dにおける前記排気が、約0.5L/sである、請求項1に記載の方法。

【請求項 17】

請求項1～16の何れか1項に記載の方法によって得られる硫酸カルシウム半水和物粉末。